

各位

2002年5月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 増倉一郎
 コード番号 8233

2002年4月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	4.3	3.4	±0日
横浜店	2.7	1.8	±0日
新宿店	1.6	3.8	±0日
関東9店計	1.3	0.2	
大阪店	3.7	10.0	±0日
京都店	0.4	2.1	±0日
関西9店計	2.0	4.3	
全店計	1.6	2.0	
法人事業	17.2		
通信販売事業	3.4		
広域事業(店外)計	34.8 (10.8)		
合計	5.3 (2.4)		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子
 建築事業は、別会社化にともない2001年9月より広域事業から除く。

()内は前年数字より建築事業を除いた実質増減率。

商品別売上高前年増減率

紳士服・洋品	7.4
婦人服・洋品	0.9
子供服・洋品	2.5
その他の衣料品	3.1
衣料品計	2.6
身の回り品	0.6
家具	52.5
家電	23.9
その他の家庭用品	5.8
家庭用品計	28.3
食料品	1.0
食堂・喫茶	11.1
雑貨	4.8
サービス	13.0
その他	2.9
合計	5.3

概況

百貨店事業	春・初夏物衣料が3月に前倒しした反動で動きが鈍かった事に加え、日曜日の日数減等の影響もあり、全店計では売上高・入店客数とも2ヵ月ぶりに前年を下回る結果となった。 店舗別では、リニューアル効果を発揮した堺店(+12.4%)、立川店(+3.9%)、大宮店(+7.2%)等は好調に推移したものの、新宿店を除く主力大型店は軒並み低調であり、前年を下回った。 商品別では、婦人雑貨(+1.5%)、特選衣料雑貨(+1.1%)、食料品(+1.5%)は堅調だったものの、主力の婦人服(0.9%)が伸び悩んだ他、紳士関連(紳士服：8.0%、紳士雑貨：7.3%)や子供服・ベビー用品(2.5%)等は低調であった。
広域事業	法人事業は大口受注の不調で、また、通信販売事業も春号・夏号カタログの売上不振等により、ともに前年を下回った。 前年の建築事業売上分を除く実質ベースでは10.8%。

お問い合わせは、高島屋本社広報室(東京) : 03 - 3246 - 4351

" (大阪) : 06 - 6631 - 5499 までお願いいたします。

以上